

とちぎの特別栽培農産物栽培管理計画書

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	30年1月30日
計画変更日	

生産者	杉山修一	品種名	コシヒカリ・夢ごち・新生夢ごち・みつひかり、いのちの壺等
住所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内742	ほ場	様式6-1-水稲早期参照
電話	0287-46-0741	栽培面積	129570 m <sup>2</sup>
作目・作型	水稲 早期栽培	収穫期間	9月10日～11月20日

(計画)

○作業内容 コシヒカリ・夢ごち、ゆうだい21、みつひかり、新生夢ごち、いのちの壺等  
 単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	18.10				ロータリー耕
カバークロープ播種	18.10.～		10 kg		ロータリー播種機
レーザーレベラー	19.3.～				レーザー整地
有機質散布	19.3.上旬～30.4月	発酵鶏糞	70～1200kg		ブロードキャスター
種子消毒	19.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	19.4.上旬	粒状培土 鹿沼産業無肥料培土 化学肥料及び節減対象農薬及び有機農産物の別表の2の農薬不使用培土 粉碎籾殻 発酵鶏糞	60 <sup>リットル</sup>  22.5 <sup>リットル</sup> 1.5kg 新生夢ごち 4 kg		10 <sup>リットル</sup> 20枚換算  播種機使用床土下層に粉碎籾殻、発酵鶏糞散布、床土表層箱詰め、散水、播種、覆土
発芽	播種後5～7日				育苗ハウス内に積み上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後～田植終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	19.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	19.4上旬～落水まで				軽トラック、1.5トン、2トン車等
代掻き作業	19.4上旬～5月中旬				代かきハロー
田植え作業	19.4下～5	ルーチン粒剤 化成14-14-14 シウハ1 <sup>kg</sup> 粒剤	1 kg 18 kg 1 kg	1回 2.52 kg 2回	田植え機使用、薬剤及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株数37～48株植え
除草剤散布	田植後7～10日	ゴエモンジャンボ	0.4 kg	3回	
土壌改良材流し込み	30.5下	海洋深層水1ヘルツ	0.1リットル		水口から流し込み
除草剤散布	19.6～7月	ワイドアタックSC	0.1 <sup>リットル</sup>	1回	ブームスプレーヤーで散布
肥料散布	19.7上～8上	マグマリン スリヤグアノ	0.1kg 0.1kg		水口から流し込み
収穫、乾燥	19.9中～10上				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、籾すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特栽培付け、農産物検査以降出荷

○出荷量及びマーク使用枚数

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計
62193 ( )		2073 ( )			2073 ( )

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.52	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	インチアニル	3%
シワチ1キ粒剤	ブタクロール 5.0% ペントキサゾン1.5%	
ゴエモンジャンボ	イプフェカルハゾン8.33% イゾフルフロン 3.0% プロモバチド30.0%	
ワイドアタック SC	ペノキススラム	3.6%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
化成14-14-14	14

※ 窒素成分を含む化学肥料のみ記入

培土の名称 ※	1箱当たり窒素施用量	10a 当たり使用箱数
鹿沼産業無肥料培土	不使用	20枚

※ 窒素成分を含む化学肥料を混合している培土のみ記入

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び 化学肥料施用量 (kg/10a)		備 考
	農薬成分回数	窒 素	
年 月 日 印	回		
年 月 日 印	回		
年 月 日 印	回		

○特記事項

--

(実績)

○作業内容 コシヒカリ・夢ごこち、みつひかり、新生夢ごこち、いのちの壱等

単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	18.10				ロータリー耕
カバークロープ播種 層大豆散布	18.10.～		新生夢ごこち及びみつひかり以外 10 kg 25 kg		ロータリー播種機
レーザーレベラー	19.3.～				レーザー整地
有機質散布	19.3.上旬～30.4月	発酵鶏糞	新生夢ごこち及びみつひかり500 kg その他の品種は0 kg		ブロードキャスター
種子消毒	19.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	19.4.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象農薬及び有機農産物の別表の2の農薬不使用培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル  1.5kg 新生夢ごこち 0.6kg		10畝20枚換算  播種機使用床土下層に床土箱詰、発酵鶏糞散布、スリヤグアノ散布、床土表層箱詰め、散水、播種、覆土
発芽	播種後5～7日				育苗ハウス内に積み上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後～田植終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	19.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	19.4上旬～落水まで				軽トラック、1.5トン、2トン車等
代掻き作業	19.4上旬～5月中旬				代かきハロー
田植え作業	19.4下～5	ルーチン粒剤 NS27号 アークエース1ヶ粒剤	1 kg 14kg 1 kg	1回 3.78kg 2回	田植え機使用、薬剤及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株数48から70株植え
除草剤散布	田植え後7～10日	ゴエモンジャンボ	0.4 kg	3回	
除草剤散布	19.6～7月	バサグラン液剤	0.5リットル	1回	ブームスプレーヤーで散布
収穫、乾燥	19.9中～10上				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、籾すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特栽培付け、農産物検査以降出荷

○出荷量及びマーク使用枚数

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計
40176 (1339)		1339 (1339)			1339 (1339)

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.78	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
シウチ1キ粒剤	ブタクロール	5.0%
	ペントキザゾン	1.5%
ゴエモンジャンボ	イプフェカルバゾン	8.33%
	イマゾフルフロン	3.0%
	プロモプチド	30.0%
バサグラン液剤	ベンザンナトリウム塩	40.0%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
NS27号	26.6%

※ 窒素成分を含む化学肥料のみ記入

培土の名称 ※	1箱当たり窒素施用量	10a 当たり使用箱数
鹿沼産業無肥料培土	不使用	20枚

※ 窒素成分を含む化学肥料を混合している培土のみ記入

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
1年9月5日 小野崎勇治	7回	3.78kg	
年 月 日 印	回		
年 月 日 印	回		

○特記事項

認定面積 95659 m <sup>2</sup> 除外圃場 11, 18, 30 ~ 36 番
--